

13 家庭用品等の安全と衛生

指針
No.27

衣料品、塗料など

衣料品や家具、接着剤や塗料などからホルムアルデヒド等の有害な化学物質が発生して、眼や皮膚への刺激、頭痛など健康に影響を与えることがありますので、注意しましょう。

ホルムアルデヒドは、強い刺激臭のある気体で、皮膚や粘膜への刺激性があり、またシックハウス症候群の原因の1つとされています。ユリア（尿素）樹脂など各種合成樹脂の原料として使用されており、以前は住宅建材や家具の接着剤として使用されていました。現在は、この種類の接着剤は内装材にはほとんど使用されていませんが、その他の接着剤、塗料、衣料品の防しわ、防縮などの加工に広く利用されます。

衣料品の多くはホルムアルデヒド加工をしています。残留すると接触性皮膚炎の原因となることから、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」により、ホルムアルデヒドの含有許容量の規制値が設けられています。この中で、大人用の下着等は75ppm以下であるのに対して、生後24か月以内のベビー用繊維製品は、乳幼児が化学物質に対する感受性が高いこと等を考慮して、ホルムアルデヒドを検出してはならないことになっています。

しかしながら、ホルムアルデヒドは衣類に吸着されやすい性質があるため、ベビー用の肌着等を他のホルムアルデヒドを含む衣料品と一緒にしておくと、汚染されますので注意が必要です。

また、新しいタンスなどの家具からは、ホルムアルデヒド等が放散し、眼がチカチカしたり、ツーンとした刺激臭を感じたりすることがあります。👉 **指針No.7参照**

家庭で使用される塗料や接着剤の多くには、有機溶剤が含まれています。身体への影響や毒性は溶剤の種類により様々ですが、揮発しやすいため空気中から呼吸によって肺に入り、血液中へ移行したり、皮膚からも吸収される性質があるので注意が必要です。とくにスプレー剤（エアゾール剤）は急速に揮発しますので気をつけましょう。

【短期間曝露後のホルムアルデヒド人体影響】

空気中のホルムアルデヒド濃度 (ppm)		影 響
推定中央値	報告値	
0.08	0.05~1	臭気を感じるか感じないかの境界値
0.4	0.08~1.6	眼への刺激を感じるかどうかの境界値
0.5	0.08~2.6	のどの炎症を起こすかどうかの境界値
2.6	2~3	鼻・眼への刺激
4.6	4~5	催涙（30分間なら耐えられる）
15	10~21	強度の催涙（1時間続く）
31	31~50	生命の危険、浮腫、炎症、肺炎
104	50~104	死亡

（出典：ECA（European Collaborative Action） ヨーロッパ共同研究）

チェックポイント
27-1

新しいパジャマや下着などを着たときに体に湿疹ができたり、かゆみが出たりしませんか。

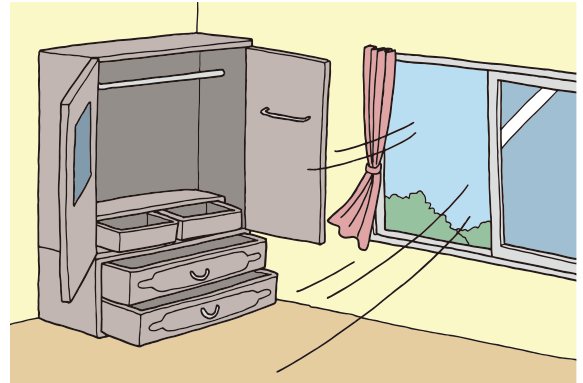
新しいパジャマや下着などはホルムアルデヒドが残留していることがありますので、水洗いしてから使用しましょう。かぶれなどの皮膚障害が出た場合は、原因と思われる衣料品の使用を中止し、しばらく様子を見てください。それでも症状が軽ならない場合は、皮膚科の専門医の診断を受けましょう。

チェックポイント
27-2

新しいタンスなどの家具から、刺激臭がして、眼がチカチカしたり、ツーンとした刺激臭を感じたりしませんか。

ホルムアルデヒドの臭いを取るためには、お湯で絞ったぞうきんで拭いてから、風通しの良い所で引き出しを全部開けて乾かすと、効果があります。また、日頃から部屋やタンスの換気を良くすることが大切です。

なお、ホルムアルデヒド臭のするタンスに衣類を入れておくと、放散されたホルムアルデヒドによる汚染を受けることがありますので、ベビー用品をしまう時は、ビニール袋に入れておきましょう。また、食器棚には食べ物を保管しないようにしましょう。



食器棚など家具を購入する際は

最近ではホルムアルデヒドの放散量の少ない合板材を使用した家具も増えていますが、輸入家具など一部の家具では未だ放散濃度の高い材料が使われていることがあります。食器棚や育児用タンス、家具などを購入する際には「SGマーク」や「室内環境配慮マーク」などを参考にし、ホルムアルデヒドなどの化学物質に配慮した商品を選びましょう。

◆SGマーク

消費生活用品のうち、その構造・材質によっては危険を生ずるおそれがある製品について、製品の安全性の確保に必要な基準（認定基準）を作り、事業者の任意申請により、この基準に適合した製品にSGマーク（Safety Goods=安全な製品）表示を認める制度。業務は通商産業大臣（現経済産業大臣）の認可を受けた「一般財団法人製品安全協会」が行っています。



◆室内環境配慮マーク

シックハウス対策等の室内環境に配慮した家具であることの明示を目的とした一般社団法人日本家具産業振興会による自主表示制度。このマークが表示されている家具は、合板、繊維板、パーティクルボード及び接着剤がF☆☆☆☆以上の材料を使い、塗料はホルムアルデヒドを含まないものを使用して製造されています。

人にやさしい家具



チェックポイント
27-3

室内で塗料や接着剤などを使用する場合、揮発する成分を吸い込まないように注意していますか。

塗料、接着剤、ワックス、スプレー剤などの中には、揮発性の有機溶剤が使われています。有機溶剤を長時間吸引すると、フラフラしたり、頭痛を起こすことがあり、スプレー剤による死亡事故例もあります。室内で使用しなければならない場合は、部屋を閉め切りにせず、通風・換気をよくしましょう。また、引火性、燃焼性が強いものもありますので、火気にも十分注意してください。

また、靴などには防水効果を与える防水スプレーを室内で使用して吸い込み、呼吸困難や肺炎等を起こす事故も増えています。マスクを着用して、必ず風通しの良い屋外で使用しましょう。

殺虫剤・防虫剤など

室内で殺虫剤、防虫剤などを使用するときは、「使用上の注意」をよく確認して、正しく使いましょう。

家庭内では、殺虫剤、衣類用防虫剤、消毒剤等が日常的に使われています。これらの化学物質は、大量に使用すると空気中の濃度が高まり、また、低濃度でも長期間吸い続けると健康に影響を及ぼすことがありますので注意が必要です。また、香り付き柔軟仕上げ剤などの香りの強い製品によって、頭痛などの体調不良を起こす事例も報告されています。使用する場合には用法・用量を守り、必要最小限の量を使うよう心掛けましょう。

殺虫剤

くん煙剤、蚊とり線香、電気蚊取り、ダニ用シート、エアゾール剤、ほう酸だんご、乳剤、粉剤など多くの種類があります。薬剤成分としては、ピレスロイド系がほとんどで、その他に、有機リン系、カーバメート系、ネオニコチノイド系、フェニルピラゾール系、IGR（昆虫成長制御）系、ほう酸などがあります。

衣類用防虫剤

パラジクロロベンゼン、ナフタリンのほか、臭いのないピレスロイド系薬剤や古くから使われている樟脳などがあります。高濃度になると、眼、鼻、のどの粘膜等を刺激することがあります。

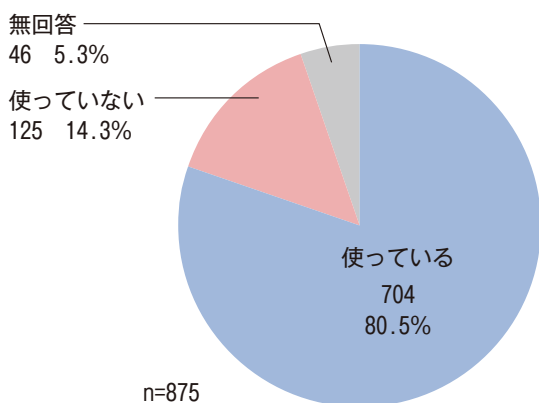
パラジクロロベンゼンは厚生労働省による室内濃度指針値 $240 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm) が設定されています。

芳香剤、消臭・脱臭剤など

トイレ内に置く芳香・消臭剤としては、非イオン界面活性剤や植物抽出成分などを成分とするものが多く使われています。

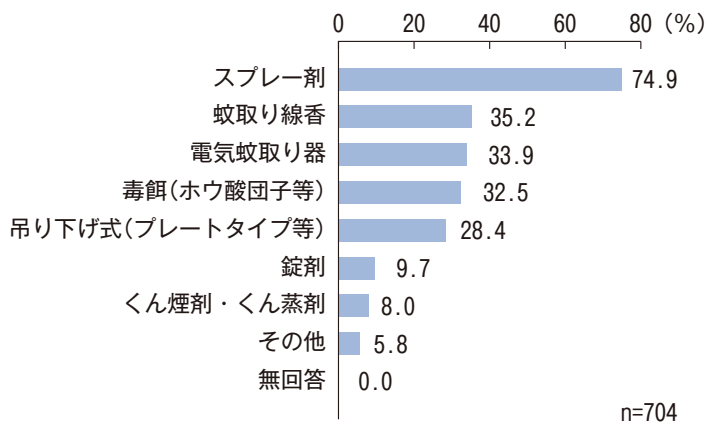
- ・芳香剤：香りにより不快な臭気を抑えます。
- ・消臭剤・脱臭剤：不快な臭いを化学的に分解、又は活性炭などの吸着剤により吸着することにより除去、又は緩和します。

〔住宅内での殺虫剤の使用状況〕



(東京都福祉保健局 平成28年度アンケート調査)

〔殺虫剤、防虫剤、虫よけ(忌避剤)の形状〕



(東京都福祉保健局 平成28年度アンケート調査)

殺虫剤の使用に当たっての注意事項

- ① 使用上の注意をよく読んで用法・用量を守って使いましょう。
- ② 乳幼児、病人、ペットのいるところでむやみに使用しないようにしましょう。
- ③ 眼や口に入らないよう、皮膚につかないよう、揮発成分を吸い込まないよう気をつけましょう。
- ④ スプレーは虫が死ぬまでかけ続ける必要はありません。使い過ぎないように注意しましょう。また、使用後は十分換気してください。
- ⑤ 閉めきった部屋で蚊とり線香や電気蚊とりなどを長時間使用しないようにしましょう。

殺虫剤に頼るだけでなく、害虫が発生しないように、また家の中に入ってこないように、環境対策や住まい方に心掛けることも大切です。



衣類用防虫剤の使用にあたっての注意事項

- ① 子供が飲み込まないよう使用・保管に注意しましょう。
- ② タンスや衣類の収納容器など、閉めきった狭い空間で、用法・用量を守り使うようにしましょう。クローゼットなど室内と空気の交流がある場所で使うと、特に無臭性の防虫剤では、濃度が高くなっても気づかないことが多いので注意しましょう。

シロアリ駆除剤の使用についての注意事項

シロアリ防除には、建物の基礎周辺の土壌に薬剤を散布し侵入を防止する方法、木材に薬剤を吹き付けたり塗布したりする方法、木材や壁に穴を開けて薬液を注入する方法などがあります。また、近年では、殺虫剤を混入した餌をシロアリに摂食させる方法も出てきています。他の方法より薬剤の使用量が少なく、人や環境への影響も少ないとされますが、敏感な人は影響を受ける可能性がゼロではありません。

シロアリ防除をする際は施工業者とよく相談し、室内汚染が起きないように気をつけましょう。

吊り下げ式防虫剤、殺虫剤の注意事項

吊り下げ式の防虫剤や殺虫剤は、使用開始と同時に練りこまれた殺虫成分が少しずつ空気中に出てきます。閉めきった室内では殺虫剤の濃度が高まり、眼やのどの刺激となることがあるので、閉めきった居室内では使わないようにしましょう。また、ジクロロボスを含む蒸散式の殺虫剤は、居室や居室内にある戸棚・キャビネット内、飲食する場所、飲食物が露出している場所での使用はできません。説明書をよく読んで用法、用量を守って使用するようしましょう。

玄関やトイレなどに置く芳香剤や消臭剤の臭いが強すぎると、嗅覚をにぶらせたり、人によってはかえって不快に感じたり、気分が悪くなることがあります。特に、トイレのような狭い空間では、消臭剤、防臭剤等の濃度は高くなりがちです。容器の開口部を調節するなどして、揮発する量を抑えましょう。

臭いの元はできるだけ掃除や換気で取り除き、芳香剤や消臭剤に頼りすぎないようにしましょう。

香り付き柔軟仕上げ剤など香りの強い製品は、人により頭痛や不快感を感じるので、大勢の人がいる場所へ着ていく衣類への使用はなるべく控えましょう。